

# 浪展

日本最古の写真団体  
浪華写真倶楽部 [1904 - 2004]

創立100周年記念

The 100th anniversary of the founding Naniwa Photo Club

2005年11月19日[土]~12月11日[日]



小石清「泥酔夢一疲勞感」(1936)



津田洋甫「還らざる原生林—大台ヶ原」(2001)

東京都写真美術館 地下1階映像展示室

開館時間：午前10時~午後6時

(入館は閉館の30分前まで。木・金は午後8時まで開館)

一般:500(400)円/学生:400(320)円/中高生・65歳以上:250(200)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※東京都写真美術館友の会会員は無料

休館日：毎週月曜日

東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス・JR恵比寿駅東口約7分  
TEL (03)3280-0099 <http://www.syabiz.com>

主催：浪華写真倶楽部創立100周年記念展実行委員会

大阪市中央区島之内1-21-22 津田写真事務所内 TEL (06)6245-0181

共催：東京都写真美術館

後援：環境省 近畿地方環境事務所、(社)日本写真協会、  
(社)日本写真家協会、日本写真芸術学会

協賛：大阪梅田ツカモトカメラ、コニカミノルタ(株)、近士写真製版(株)、(株)写真弘社、  
ニコンカメラ販売(株)、ニューカラー写真印刷(株)、富士フィルムイメージテック(株)、  
富士フィルムイメージング(株)、光村推古書院(株)、(株)ラボネットワーク



福森白洋「留守居」(1924)



花和銀吾「複雑なる想像」(1938)

歴史編



中藤敦「バレエ」(1939)



安井仲治「窓」(流儀ユダヤより) (1941)

現代編



高田誠三「水滴の中の蝶」昭和33年最高作品 (1955)



津田洋甫「生きている」昭和34年最高作品 (1956)



岡本美知子「チビッ子・道牧民への夢」(2003)



酒井平八郎「えびすばし」(2004)



会場 東京都写真美術館 地下1階映像展示室

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス  
TEL (03)3280-0099 <http://www.syabiz.com>

東京都写真美術館

(交通機関)  
□JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分・  
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。  
□当館には専用の駐車場がございません。  
お車での来館はご遠慮ください。

浪華写真倶楽部は明治37年1月9日大阪に誕生し、昨年創立100周年を迎えました。写真団体としては日本最古の歴史を有しています。その長い100年の間には世界大戦などの苦難の年もありましたが、ひとときも消え去ることなく、今日の栄光の日を迎えることが出来ました。会員一同そのことに誇りをもって活動を続けています。なかでも昭和初期の福森白洋、安井仲治、花和銀吾、小石清等の新興写真、前衛写真時代の革命的な活動は、現在も再認識、再評価されています。戦後、一時衰退の時もありましたが、新人が育ちその灯を消すことなく、現役作家41名の作家が作品を競い合っております。新旧の作品を比較してご覧下さい。浪華の作風は「一人一党」を尊重する自由な伝統を大事にしている倶楽部です。

新旧の作品を展示することによって、その歴史の一端をご高覧頂ければ幸いです。

浪華写真倶楽部代表 津田洋甫